

企画展のご案内

菅原道真公 1125 年太宰府天満宮式年大祭記念

神戸智行 — 千年を描く —



神戸智行《千年後の未来》(部分)2023 年 太宰府天満宮蔵

展覧会名	神戸智行 — 千年を描く —
会場	岐阜県美術館 展示室2(岐阜市宇佐 4-1-22)
会期	令和6年7月6日(土)ー令和6年9月8日(日) 午前10時ー午後6時 ※令和6年8月1日(木)は午前11時開館 ※休館日:毎週月曜日(祝・休日の場合は翌平日) 令和6年7月23日(火) ※夜間開館:令和6年7月19日(金)、8月16日(金)は午後8時まで ※展示室の入場は閉館の30分前まで
料金	一般 800(700)円 大学生 600(500)円 高校生以下無料()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証の交付を受けている方およびその付き添いの方(1名まで)は無料
主催	岐阜県美術館 太宰府天満宮 中日新聞社
特別協力	鈴懸
企画協力	ギャラリー広田美術
協賛	有沢製作所 画廊 光芳堂 大丸松坂屋百貨店

本資料に関するお問い合わせ



〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22

TEL 058-271-1313(代表) FAX 058-271-1315

URL: <https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>広報担当:後藤正行
担当学芸員:青山訓子県美術館
Web サイト

美術館の情報を発信しています



公式Facebook



公式Instagram



公式X

E-mail: kouhougifukenbi@govt.pref.gifu.jp

本展覧会について

太宰府天満宮は、学問・文化芸術の神として知られる菅原道真公(天神さま)の御墓所の上に創建され、天神信仰の聖地として、また全国 12000 社の天満宮の総本宮として歴史を重ねてきました。2027年(令和9年)には道真公が天神さまとして祀られて1125年を迎えます。この節目となる式年大祭に向けて同宮では、2023年(令和5年)から御本殿の大改修をはじめ、文化財の調査、境内の整備等を進めています。

このたび岐阜市出身の日本画家・神戸智行(1975年生まれ)により太宰府天満宮に24面の襖絵が奉納されるのを機に、本襖絵の原画および太宰府天満宮コレクションに岐阜県美術館の所蔵品をあわせて紹介する特別展を開催します。森羅万象、四季の自然を見つめ描き出された神戸作品の世界をお楽しみください。

神戸智行 プロフィール

1975年：岐阜県岐阜市生まれ

1999年：多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻卒業

2001年：多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程絵画専攻日本画領域修了

2007年：「現代日本画ワンダーランド」(高崎市タワー美術館／群馬)

2008年：文化庁在外研修員として、1年間のボストンでの研修を経る。

2009年：クロスアート2「The 7 top runners ART のメリーゴーランド」(岐阜県美術館／岐阜)

2010年：「DOMANI・明日展 未来を担う美術家たち<文化庁芸術家在外研修の成果>」
(国立新美術館／六本木)

2011年：「トップランナー 日本画の若き力」(高崎市タワー美術館／群馬)

「神戸智行展－イノセント・ワールド－」(佐藤美術館／東京、ギャラリー広田美術／東京)

2013年：「“INNOCENT WORLD”～TOMOYUKI KAMBE EXHIBITION～」

(ジャパン・クリエイティブ・センター／シンガポール)

2017年：「日本画山脈」(新見美術館／岡山 等4館巡回)

「日本画の逆襲」(岐阜県美術館／岐阜)

展覧会の見どころ

24面の襖絵原画は、群馬・岐阜・岡山の3会場で公開されたのちに襖に仕立てられて太宰府天満宮に奉納される予定です。本展覧会は、襖絵の全体像を把握できる貴重な機会となるでしょう。

また神戸智行は、太宰府天満宮が美術家を招聘して太宰府や神道をテーマに滞在制作してもらう「太宰府天満宮アートプログラム」の第7回目(2011年)に選ばれています。(第1回は岐阜県美術館長の日比野克彦) 東日本大震災の発生した3月11日に境内で梅のスケッチをしており、その時の体験を反映した作品が《一瞬の永遠》(2011年、太宰府天満宮蔵)です。同作品をはじめ、太宰府天満宮が10年以上の歳月をかけて神戸をサポートし、収蔵してきた作品群を一堂にご紹介します。

さらに、2012年から担当してきた、博多の和菓子店「鈴懸」の季節と干支の掛け紙33点と包装紙2点の原画も紹介します。小品のなかに、ユーモアとデザイン性に富んだ魅力が感じられます。

関連プログラム

■クロストーク

日 時:2024年7月6日(土)13:30-15:00

出 演:西高辻信宏(太宰府天満宮 宮司)×神戸智行(日本画家)

会 場:岐阜県美術館 講堂

備 考:聴講無料、事前申込み不要、定員170名、先着順)

■ギャラリートーク

日 時:2024年7月19日(金)、8月16日(金) 各日18:30-19:00

担 当:青山訓子(岐阜県美術館学芸課長)

会 場:岐阜県美術館 展示室2

備 考:要観覧券、事前申込み不要

■美術講座「Kami is in the details 神は細部に宿る―神戸作品の魅力」

日 時:2024年7月27日(土)13:30-15:00

担 当:青山訓子(岐阜県美術館学芸課長)

会 場:岐阜県美術館 講堂

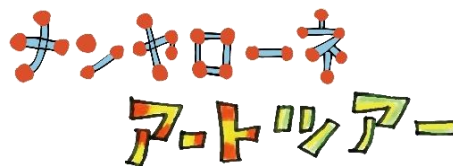
備 考:要観覧券、事前申込み不要

■ナンヤローネ アートツアー

日 時:2024年8月4日(日)14:00-15:30

会 場:岐阜県美術館 多目的ホール、展示室2

備 考:要事前申込み(7月4日から岐阜県美術館 web サイトにて) 要観覧券



■日本画ワークショップ

日 時:2024年8月10日(土)11:00-16:00

講 師:神戸智行(日本画家)

会 場:岐阜県美術館 多目的ホール

備 考:要事前申込み(7月10日から岐阜県美術館 web サイトにて)、定員20名

同時開催

◆「象る―彫刻コレクションから」

2024年4月16日(火)-2024年9月8日(日)

◆「ここではない どこかへ 美術にみる「理想郷」

2024年7月9日(火)-2024年9月8日(日)

◆「令和6年度岐阜県青少年美術展」

2024年7月6日(土)-2024年7月15日(月・祝)

◆「第48回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門」

2024年7月31日(水)-2024年8月4日(日)

◆「清流の国ぎふ芸術祭 第5回ぎふ美術展」

2024年8月17日(金)-2024年9月1日(日)

岐阜県美術館 企画展

菅原道真公 1125 年太宰府天満宮式年大祭記念

神戸智行 一千年を描く一

広報画像貸出申込書

FAX 送信番号:058-271-1315

 岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名:)		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:	FAX:	
	E-mail:		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送(月号)/発行部数	部
掲載内容				

2. 広報画像はご使用になりますか。

☐ はい 画像データ到着希望日(月 日) ☐ いいえ(写真は使用せず、文字掲載のみ)

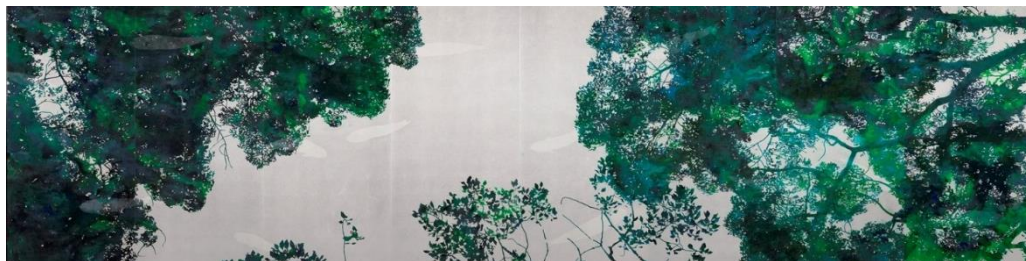
3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵、クレジットを必ずご記載ください。

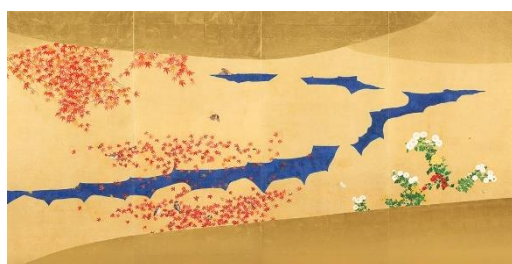
☑	番号	ご掲載時のキャプション表記
☐	①	神戸智行《千年後の未来》(部分) 2023年 太宰府天満宮蔵 撮影:山崎信一
☐	②	神戸智行《千年後の未来》(部分) 2023年 太宰府天満宮蔵 撮影:山崎信一
☐	③	神戸智行《千年後の未来》(部分) 2023年 太宰府天満宮蔵 撮影:山崎信一
☐	④	神戸智行《千年後の未来》(部分) 2023年 太宰府天満宮蔵 撮影:山崎信一
☐	⑤	神戸智行《千年後の未来》(部分) 2023年 太宰府天満宮蔵 撮影:山崎信一
☐	⑥	神戸智行《一瞬の永遠》左隻 2011年 太宰府天満宮蔵 撮影:山崎信一
☐	⑦	神戸智行《一瞬の永遠》右隻 2011年 太宰府天満宮蔵 撮影:山崎信一
☐	⑧	神戸智行《陽のあたる場所》(部分) 2011年 太宰府天満宮蔵 撮影:山崎信一
☐	⑨	神戸智行《いつもの時間》2009年 岐阜県美術館蔵

■広報画像一覧

①



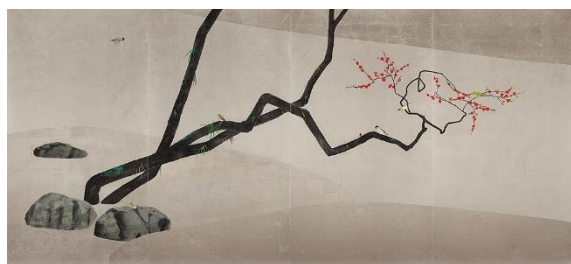
②



③



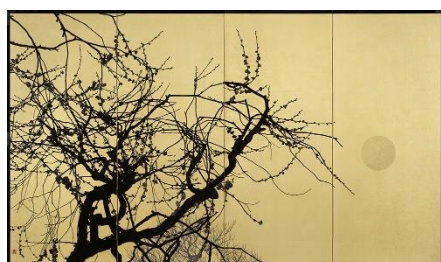
④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。